

1月14日(木曜日)

ドル/円

## 米小売売上高は期待を上回るか？

### 13日(水)の主な推移

NYダウ平均

10680.77ドル  
(+53.51ドル)

米長期金利  
(10年債利回り)

3.7908%  
(+0.0742%)

NY原油先物

79.65ドル  
(-1.14ドル)

チャート: 30分足 13日(水)朝7時 ~ 14日(木)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

- ① 日経平均が安寄りも下げ幅を縮小する流れになったことでクロス円(ユーロ/円など)が上昇すると、ドル/円も連れて上昇した。しかし、この流れは長く続かず、日経平均が再び下げ幅を拡大する流れになると、クロス円が軟化。さらに、国内輸出企業からのドル売りや上海総合株価指数の下落なども相まって、ドル/円は下落した。
- ② イングランド銀行(BOE)の金融政策委員会(MPC)委員のセントンス氏が英紙ガーディアンのインタビューにおいて「景気回復に伴い、BOEは今年利上げを検討しなければならないだろう」と語ったことが伝わると、ポンドが上昇。ポンド/円で円安が進行したことで、ドル/円でも円安が進み、18時には91.48円の高値を付けた。
- ③ 序盤に前日比でマイナス圏に転落したNYダウ平均が反発するに従い、米長期金利も上昇に転じたことで、ドル/円ではドル高・円安が進行。さらに、日本時間14日3時に行われた米10年債リオープニング入札の需要がそれほど旺盛でなかったことから米長期金利がさらに上昇すると、ドル/円は91.55円まで上昇した。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本政府による市場介入への警戒感
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 90.70-92.40円

本日は米国の12月小売売上高に注目が集まる。市場では、クリスマス商戦が予想よりも好調だったとの見方から、3カ月連続の増加となる可能性が高いとする向きが多い。12月の米自動車販売台数も予想以上に好調だったことから、今回の小売売上高への期待は高いと言える。予想よりも強い結果となり、米景気の回復期待がより強まれば、米政策金利の早期引き上げ観測が台頭しよう。そうなれば、米長期金利は上昇し、ドル/円相場ではドル高・円安が進行するとみる。

ドル高・円安が進んだ場合、節目の92.00円を突破するかが焦点。本日時点で20日移動平均線が91.76円のところにあり、91円台後半では上値の重さがみられる可能性も考えられる。ただ、この水準で上値の重さを払拭できれば、週末にかけて週初の水準である92円台後半を目指すこともあり得るだろう。

一方で、米小売売上高の結果が予想を裏切った場合、急速にドルが売られる公算が大きい。そうなった場合は、1月12日につけた週の安値である90.72円付近まで下落することも想定しておきたい。

### 本日より明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/14(木)	22:30	◎	(米) 12月小売売上高 [前月比]	+1.3%	+0.5%
		◎	(米) 12月小売売上高 [前月比: 除自動車]	+1.2%	+0.3%
		○	(米) 1/10までの週の新規失業保険申請件数	43.4万件	43.7万件
	27:00		(米) 30年債リオープニング入札(130億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com